1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2291100069		
法人名	㈱ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ香貫山	ユニット名	はまゆう
所在地	静岡県沼津市下香貫塩満1830-2		
自己評価作成日	平成22年01月22日	評価結果市町村受理日	平成22年6月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町４－１
訪問調査日	平成22年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お客様の声にスタッフ一人一人が耳を傾け、意志決定を大切にしている。健康に留意し、安全で安心して暮らせる様支援し、ご家族ご利用者様にも笑顔で応対し、毎日のケアを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

開所から5年が経過、理念「笑顔」の実践として、利用者・家族・職員間のコミニュケーションを図り一日中笑いが絶えないホーム作りに努めており、研修生や訪問者から「ほっとする」と言われている。職員の定着もよくゆとりある勤務体制と法人のバックアップにより職員の外部研修参加機会も多く、職員のモチベーションも高い。研修で学んだことは全職員で共有し利用者へのサービス向上に繋げており、居室の温度・採光等常に利用者本位の視点を以ての支援は利用者のゆったりした表情を引き出している。また毎日の食事は勿論、行事に供される職員手作りの弁当は家族にも好評である。加齢に伴うADL低下の中、現状のホーム運営維持には不断の努力を要するが香貫山の職員の誇りを持って支援に当たられたい。

Ｖ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
#	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
#	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
#	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
#	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
#	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
#	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	業務開始時に社是・理念ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽｽﾛｰｶﾞﾝを確認し、全体会議・随時のｶﾝﾌｧﾚﾝｽ・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞを通し日々理念の実現に取り組み実践している。	事業所理念「笑顔」と、フロア毎に毎月決定するスローガンを、毎朝業務開始時に全員で唱和し、意識付けをしている。一日中笑いの絶えない事業所を目指し、やさしさと笑顔によるケアを継続している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に参加し、お祭りや運動会への参加、子供会に古紙回収協力などを通じて地域との交流を促進している。	自治会に加入し、回覧板の回覧もある。地域の祭、運動会、防災訓練、古紙回収等の行事に参加する一方、ボランティアの受入れや子供会の子供達の訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	納涼祭やｲﾍﾞﾝﾄ等、行事への参加を地域住民に募り、認知症への理解や支援方法を実際に見て頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回定期的に開催され、地域関係者、包括支援センター、ご家族、ご利用者さま等の参加により地域やご家族との交流関係を築く取り組みが行われており、有益な意見をサービス向上に活かしている。	2ヵ月に1回、自治会長や組長・民生委員・地域包括支援センター・家族代表・利用者等が参加し、開催している。事業所から運営状況等の報告を行うとともに、家族等からの意見を受ける場等としている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市のｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ連絡協議会を通して、認知症介護研修などにも参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	市のグループホーム連絡協議会に参加し、情報交換、事例相談、研修受講等を行っている。また、県、市とは郵便、メール等により情報交換を行うとともに、運営推進会議には地域包括支援センターが参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修会等に参加し、ホーム内でも勉強会を行う等、その意義を良く理解し鍵を掛けないケア等の実践に取り組んでいる。	身体拘束ゼロを合言葉に、外部の研修会に参加し、事業所内でも勉強会を開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修会等に参加し、スタッフの知識を高め利用者の異変にすぐ気付く様に努めている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	同じ階ではないが、成年後見人を利用している方がいるので一応の知識　理解はある。研修会等にも参加し、支援に活かしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族等の不安、疑問点が無くなるまで十分な説明を行い、理解・納得を図っている。		
10	（6）	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会・運営推進会議、面接時や電話などを通し、ご利用者やご家族のご要望・ご意見などを聞き取り、全体会議にて話し合い、ホーム運営に活かしている。	年1回開催の家族会、2ヶ月に1回開催の運営推進会議で家族等の意見、要望を聞くことに心掛けているほか、家族等向け事業所便りを毎月郵送し、事業所の現況と利用者の近況報告を行っている。	事業所と職員のケアや心配りが、一部の家族等に伝わっていないきらいもあるので、家族等向け事業所便りを活用し、ケアや心配りを積極的に情報発信することが望まれる。
11	（7）	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行う全体会議・ｹｱｶﾝﾌｧﾚﾝｽ・個別面談等、スタッフの意見や提案を聞く機会を設けている。	毎月開催の全体会議、カンファレンス、日々のケアの中で職員の意見、提案を聞く機会を積極的に設け、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟを行い、合格者には給与の増額がある。職員の意見を大切にいつも笑顔いっぱいの楽しい職場を目指している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社主催の新人研修や、ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰ・介護福祉士研修、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ連絡協議会の研修などへの参加が出来るよう、機会の確保を行っている。資格取得に対する優遇処置もある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ連絡会での交流や近隣の他ホームとの勉強会・相互訪問などを通して、サービスの質の向上に励んでいる。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困っていること、不安なことや要望等を　、親身になって最後まで聞き、安心して生活出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前からホーム長、ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰがご家族と面談し、ご入居されてからも細かに毎日のご様子を伝えｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを取り合い、安心して頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	受診時ご家族の方が都合が付かない時の同行サービスとかマッサージ利用など、お客様・ご家族とのアセスメントを行い、必要としている支援がどのようなものかを見極め、ホームで出来る支援等を詳しく説明をし、ご		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様と日常生活を共にし、コミュニケーションなどをとりながら信頼関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が来訪された時やお電話での対応時には必ずお客様の最近のご様子をお伝えし、又、毎月のおたよりを発送し、近況をご家族に伝え共に支援してゆける関係を築いています。		
20	（8）	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの友人やご家族との関係や大切にしてきた事柄をスタッフが共有し支援に努めています。	孫の結婚式や法事に出掛けたり、友人が来訪することもある。また、自宅に戻り宿泊する利用者や、友人に手紙を出すことを習慣にしている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ﾚｸﾚｰｼｮﾝでは皆で一緒に楽しめる様に心がけています。ご利用者様同士で和やかに談笑したりしてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをとりながら、支えあいながら1日が楽しく暮らしていけるよう支援しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去された方の他施設への面会も行っている。ご家族と連絡を取り合い現況を把握している。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の声かけ、会話の中からお一人お一人の思いや希望、意向を汲み取るように努めている。入居者やご家族の意向を伺いながら本人本位で検討している。	毎日のケアの中で利用者の言葉や動作に注意し、また家族等の希望を聞きながら、一人ひとりの思いや意向の把握を行っている。やさしさと笑顔で接し、コミュニケーション向上に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に協力して頂き、基本情報シートや生活史シート等に生活歴や馴染みの暮らし方、入居までの経過や背景について出来る限り詳細に記入して頂き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活支援シートを作成し、一日の過ごし方や活動項目別にご自身でしている事（出来る事）を書き出し現状の把握に努めている。		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月１回の定期カンファと必要時には随時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞとｶﾝﾌｧﾚﾝｽを行っている。課題によっては主治医に相談したりご家族に同席頂き多方面の意見を取り入れた介護計画を作成している。	3ヶ月に1回の介護計画の見直しと月1回の定期カンファレンスに加え、随時モニタリングとカンファレンスを実施し、利用者の現状に合わせた介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日一日の様子を詳しく介護記録に記入している。見直しに活かせるように介護計画に基づいた記入に努め、特記事項は管理日誌にも記入し情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	例えば、入浴日は一応設けてはあるがニーズによっては随時入浴を行い、食事も必要時には粥食で対応する等、個別のニーズに合わせて柔軟なサービス提供に努めている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自治会、老人会、行事等に参加 （お祭りへの参加、子ども会の古紙回収協力など　運営推進会議を通じて地域の方や自治会との交流を促進できる様支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来からのかかりつけ医を希望するご利用者様も居り、相互に連携を密にし適切な医療が受けられる様支援している。ご家族との連携を密にし適切な医療が受けられるよう支援している。	本人および家族等の希望により、従来からのかかりつけ医、あるいは毎月往診していただける提携医に受診しており、受診ノートを活用して適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医の往診時に、ご利用者様の状態や必要な情報の報告、急変時における主治医への上申など、適切な介護ができる様支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	変化が生じた時は、本人・家族・医療関係者と連絡を密にし、現状に即した情報交換や日常の経過など提供し安心して医療が受けられるように支援し、入退院時の協力や相談が出来るような関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時のも重度化や終末期に向け他話し合いを行い、本人や家族、主治医と話し合いができる事を十分に説明しながら関係者と共に支援に取り組んでいる。	ホームでの看取りを希望する家族は多く、ホームで出来ること・出来ないことを説明しており、他の利用者への影響や支援する職員の思いも含め必要に応じ話し合っている。テクニカル研修等を利用して状況変化に対応すべくスキルアップを図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	「緊急連絡網」「お客様病院反掃除の緊急対応ﾏﾆｭｱﾙ」など活用し、急変や事故発生時に対応。その後の対応についてもｶﾝﾌｧﾚﾝｽを行う。又、月一回の全体会議等で緊急時の研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月一回ホームにおける防災訓練の実施　消防署による定期的な防災訓練への参加　AEDの研修会などに取り組んでいる。自治会・地域住民・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等にも協力を依頼している。	消防署の指導を受けながら、毎月夜間を想定した訓練を継続しており、全員を外へ出すまでの時間の計測等具体的な問題を抽出し非常時に備えている。スプリンクラーの設置も近く予定されている。	非常時に備え近隣の方々に協力をお願いしているが、有事の際に職員だけの誘導限界を踏まえ訓練への参加等地域との連携強化を期待したい。

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の尊厳を守れる様努めている。個人情報についてはイニシャル表示にする等対応している。	毎月の会議で言葉遣いや会話時の視線等利用者の誇りを損ねることのない対応について確認している。また、掲示物に名前を付けない、外部で話さない等個人情報の保護に関する職員の意識も高い。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活を送る中で一人一人に合った声掛けをし、ほんにんの希望を尊重した生活支援を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人に合わせたサービス計画表を作成し、本人のペースを尊重した支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の意志、個性を尊重し、身だしなみやお洒落ができる様、声掛けや見守り等の支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に準備や盛り付け、片付け等を楽しんで行って頂ける様支援している。	炊事の得意な利用者は台所に入り職員と調理をしており、下膳や食器拭きは多くの利用者がお喋りしながら参加している。おやつのクッキーの型抜き等利用者が腕をふるっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた献立にそった料理の提供や水分量が確保できる様一人一人に合わせた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアﾁｪｯｸ表を作成し、毎食後の口腔ケアを実施している。清潔保持のため、一人一人に合わせた支援を行っている。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄に不安を感じないよう排泄のタイミングを見計らってさり気ない声掛けやﾄｲﾚ誘導、見守りを行っている。	時間による声かけやトイレまでの誘導等利用者個々に応じた支援をしており、入居時より改善した例も多く、現在は殆どの利用者が自立している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の回数をﾁｪｯｸ、記録している。排便傾向のある方には水分補給、野菜の摂取、運動への参加等を促し予防に繋がる支援をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴日の中で、出来るだけ本人の希望の時間帯に合わせ楽しくゆったりとした気持ちで入浴できるよう配慮している。入浴を好まない方には負担にならない様声掛けやﾀｲﾐﾝｸﾞを工夫し自然な流れで入浴出来る様にしがけている	基本的に入浴日は決められているがその中で利用者の希望の時間帯に入浴できるよう支援している。入浴できない利用者には足浴での対応もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に合わせて入床して頂いている。昼寝や居室での休息も自由にして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人記録に閉じていつでも確認出来る様にしている。スタッフで何重もの確認の上服薬して頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の興味・希望を日常生活の中から感じ取り、力を生かせるような役割や楽しみを支援している。家事やﾚｸﾚｰｼｮﾝ、運動等、毎日の生活の流れの中で柔軟に対応している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の喫茶店、散歩、買い物等外出する機会を設けている。ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ流行等状況に応じて対処している。	インフルエンザの流行と寒波のため散歩は控えているが、職員が同行して個々にゴミ出しや買い物等外出の機会を作っている。また地域の祭り等行事参加や春秋にはバス旅行も実施され、利用者の楽しみとなっている。	

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の欲しいと言う物をご家族様からの了承の上で購入させて頂いている。外出でのﾚｸﾚｰｼｮﾝでは、本人が小遣いを所持し買い物できる様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人がご家族に電話したり、スタッフが電話を掛けご家族と会話できる様にしたり、手紙のやり取りも支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花を飾ったり、居間には季節に合わせた飾りつけをしている。浴室など温度差が無いよう床暖房を利用し注意をしている。音楽が皆好きなのでいつも聞いている。	定期的なワックスがけにより居間・廊下等良く磨かれ洗面台も清潔である。居間にはフラワーアレンジメントや利用者の作品が飾られ柔らかな雰囲気を醸している。温かい日には広いデッキにテーブルを持ち出してお茶を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテラスなど気の合った利用者同士で過ごされている。いつも笑顔の絶えない居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に馴染みの家具やご家族の写真やプレゼント等が飾られ居心地良く過ごせるように工夫している。	鏡台や愛用の椅子等馴染みの家具が配置され、家族から届けられた利用者愛読の文芸雑誌が積まれている。カーテンを付け替えて採光調節するなど利用者が心地よく過ごせる居室作りに細やかな観察と工夫がみられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の出来る事や分かる事は出来るだけ行って頂いている。例えば、台所仕事・掃除・片付け・食器拭き・洗濯たたみ・洗濯干し他		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291100069		
法人名	㈱ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ香貫山	ユニット名	あづさ
所在地	静岡県沼津市下香貫塩満1830-2		
自己評価作成日	平成22年01月22日	評価結果市町村受理日	平成22年6月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4－1
訪問調査日	平成22年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

健康に留意し安全で安心して暮らせる様支援し、ご家族様使用者様にも笑顔で、過ごせるよう心掛けている。 野菜食を中心においしいお食事の提供をこころがけている。 ホーム内の整理　整頓、皆様の清潔　の保持に努め、気持ちよく生活をして頂く。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

V．サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念を毎朝、唱和しスタッフに理解と浸透をもとめ、ホーム独自の理念を掲げ、共有、実践に努めている。「笑顔、お客様の立場にたつ」	※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域における防災訓練に参加し地域の連絡もうに連携　近隣の理容所を利用している。祭り等に参加し楽しんでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のボランティアや子供会にホームに来ていただき、認知症の理解をして頂く。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行う運営推進会議では、ホーム内の状況、取り組みを発表し意見交換を行う。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	二ヶ月に1回運営推進会議を開き包括支援センター、自治省、地域の相談員、役員　ご家族に出席して、頂近況等を伝えている。事故発生時は速やかに連絡しながら取り組んでいる。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	いつでも訪問していただけるようにしてあります。身体拘束0対策を目標に禁止事項は理解している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止法」の研修会を行い、虐待の防止に努めている。スタッフの意識を高めるように努めている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に成年後見人制度を利用している方がいらしゃるので学ぶ機会を持ち勉強できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族には、ご契約時や改定時　そのつど不安や疑問点に関しても十分な説明を行い理解、納得を図った上での契約や改定を行っている。		
10	（6）	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会にご家族様が出席されたとき等、意見や要望を発表して頂き運営に反映させている。		
11	（7）	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やカンファレンス　日常いつでも意見交換をおこない、ホーム向上への足がかりにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップを行い、合格者には給料アップとなっている。職員個々の意見を大切に明るく楽しく働ける職場を目指している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が研修する機会　（会社内外）を増やし、介護技術、認知症の理解、コミュニケーション技術等の機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター　GH連絡協議会　市の開催等交流する機会を作っている。他ホームとの相互訪問などを通じてサービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のアセスメント　介護サマリー、健康状態、病歴などについて把握し安心して、生活していただける関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前のご家族　本人との面接の機会を増やし要望等に耳を傾け信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずお客様　ご家族とアセスメントを行いどのような支援を必要としているかを見極めホームの内容、ホームで出来る支援等を詳しく話し説明している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る仕事　やりたい事を探し本人のペースにあわせてお客様本位で職員がサーポートしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会を開いたり、毎月のお便り配布により、日常の生活状況を見て頂く。支援の変更等必要時には、家族に連絡、理解を求めるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの友人や家族の関係を大切にし、いつでも会える環境を整えている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格、生活歴を大切に、その人らしく暮らしていけるよう支援し、利用者同士がスムーズにコミュニケーションがとれ毎日の生活が楽しく送れる」ようサポートしている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方の居場所（他施設等）への面会も行っている。ご家族からも連絡が入り現在の状況なども把握している。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の声掛けや会話の中から入居者の希望や意向などをうかがい、検討している。ご家族の意向なども取り入れ本人本位での把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者やご家族の協力をえて、センター方式等の記入で、これまでの入居者のサービス利用の経過などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフの定期カンファ　や全体会議等で話し合い入居者の現状の把握に努めている。		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス　モニタリング等で入居者　スタッフやご家族の意見や要望を話し合い現状に即したケアプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケア様子　気づき工夫を記録し　申し送り　定期カンファ　モニタリング等でスタッフが本人の状況を伝え合い、ケアプランの見直し等に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じてマッサージのサービス　リハビリなど行っている。散歩時の買い物や地域の床屋への同行　喫茶店への同行　など柔軟な対応に心掛けている。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の自治会　老人会　子供会　行事等に参加している。祭り　防災訓練　清掃　協力等　　運営推進会議を通じて地域との交流を促進できるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族との連携を密にし、かかりつけ医との関係を大切にし、適切な医療が受けられるよう支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診ノートを活用し情報や気づきを上申している。適切な医療が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者の状態や必要な情報の報告に変化が生じた時は、ご本人・ご家族・医療関係者との連絡を密にしている。入退院の協力など行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時から重度化の説明やﾀｰﾐﾅﾙ期についての話をご本人やご家族に伝えている。ホームで出来る事を説明しながら地域関係者とともに支援に取り組んで行く。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルなどを活用。AEDの講習会も2度開催し、応急手当初期対応の訓練を行い対応できるように心掛けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月１回防災訓練や消火訓練の実施や消防署による防災訓練など取り組んでいる。自治会・地域住民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等にも協力を依頼している。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報についてはｲﾆｼｬﾙ表示や個人情報ﾏﾆｭｱﾙに関する研修などで対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思を尊重し、一人ひとりに合った声掛けをし生活支援に役立っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに合わせたサービス計画表を作成し、本人のペースにあわせ、１日をどのように過ごしていくか希望にそって支援してゆく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人の意思や個性を尊重し身だしなみやおしゃれが出来るよう声掛けや見守り等支援してゆく。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ひとり一人の好みや力を生かしながら　役割分担し，皆で協力しながら、楽しみながらスタッフと利用者で行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	野菜食を中心とした栄養、バランスの摂れた食事の提供をしている。体調に合わせた一人ひとりの食事や水分量の支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時毎食後　スタッフが見守りながら、一人ひとりに対応した　口腔ケアを実施している。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべく日中は、布パンツで過ごせるよう支援し、気持ちよく生活していただけるよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック、便秘傾向の方には、水分補給や野菜の摂取、散歩や運動他、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴の中で本人の希望の時間帯に合わせ、気持ちよく入浴出来るよう支援している。入浴を好まない方には、負担にならないよう、声掛けやタイミングを工夫して入浴出来るよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人次第で入床して頂いている。昼寝や居室での休息もその時々の状況に応じ、気持ちよく休むことが出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は、いつでも確認できるようにしている。服薬支援は、スタッフの幾重にもよる確認により入居者の服薬管理を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、本人の興味、喜び、楽しみ　悲しみを感じ取り、毎日を精一杯楽しく過ごしていただけるよう支援している。気分転換を図り毎日を楽しく充実した日々を送っていただけるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外に散歩に出たいという希望があれば、スタッフが同行し、希望にそうようにしている。皆で近くの喫茶店や食事処　自治会の行事への参加　イベントのバス旅行などの楽しみが持てるよう支援している。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族よりお小遣いを、預からせていただき、必要に応じて、利用者様とスタッフ一緒に買い物に出かけ、お金をつかえるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が必要なときには、電話を使って頂く。手紙等のやり取りも支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花を飾ったり、居間には季節に合わせた飾りつけをして心地よい空間作りを心がけている。浴室などは、温度差を考え床暖房などにも気をつかい支援している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの席でテレビを見たり、ソファーで気の合った入居者様同士でお話できるように支援している。いつも笑いの絶えない居場所づくりを心がけている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド　タンス　仏壇等、ご自宅で使い慣れた家具や写真等を置き、居心地のよい部屋づくりを工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	無理せず出来る事　わかる事をしていただき　自立した生活が送れるよう支援している。 台所仕事　掃除　片付け　荒いもの　食器拭き　洗濯物の片付け　干し物など。		